

【ご参考資料】

2014年9月29日  
野村アセットマネジメント株式会社

「野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(通貨選択型)」  
「PIMCOの最高投資責任者の後継と運用の新体制について」

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(通貨選択型)」(以下、ファンド)において投資している円建て外国籍投資信託の投資顧問会社パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー(以下、PIMCO)における運用体制の変更についてお知らせいたします。

9月26日付で、PIMCOの共同創設者であり最高投資責任者(CIO)であったビル・グロース氏が退社し、副最高投資責任者(副CIO)の一人であったダニエル・アイバシン氏がグループ最高投資責任者(グループCIO)に任命されました。

これまでファンドが投資している外国籍投資信託の運用にビル・グロース氏は直接的には関与しておらず、今回の運用ヘッドの交代に伴い、運用方針や実質的な運用体制に変更はないことから、ファンドに与える影響は軽微と考えておりますが、今後も運用状況や運用体制について注視して参る所存です。

次ページ以降に、ピムコジャパンリミテッドが作成したレター「PIMCOの最高投資責任者の後継と運用の新体制について」を掲載しますのでご参照ください。

引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

2014年9月29日

お客様 各位

ピムコジャパンリミテッド

## PIMCOの最高投資責任者の後継と運用の新体制について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、PIMCOの共同創設者であり最高投資責任者（CIO）であったビル・グロース氏が、9月26日付で43年間在籍したPIMCOを退社致しました。これを受け、PIMCOは、副最高投資責任者（副CIO）の一人であったダニエル・アイバシンをグループ最高投資責任者（グループCIO）に任命しました。

PIMCOは、お客様に対する責務として、運用における体制変更を円滑に行うため、ビル・グロース氏の後継者選出についての十分なプロセスを確立しておりました。それに基づき、今、PIMCOの運用チームにおけるリーダーシップは資産運用業界でトップを行く経験豊富な運用者達に引き継がれました。

本日の発表を以って、PIMCOの運用体制におけるリーダーシップの移行の手続きは完了致しました。今回の変更は、これまでも継続的に取り組んで来た運用体制強化の一貫であり、お客様に優れた資産運用サービスを提供するという経営理念に沿うものであります。

グループCIOのダニエル・アイバシンは、次のように述べています。「PIMCOには、運用及びリーダーシップについて豊富な経験を持つ多くの人材が揃っており、それにはグローバルに配置された240名を超えるポートフォリオ・マネージャーが含まれます。世界中のPIMCOの拠点に在籍する社員たちは、今回の転換期を乗り越えるための組織的な基盤、能力、専門知識、そして強い意志を備えています。現在も、そしてこれからも、PIMCOはお客様のために全力を尽くして参る所存です。」

これからも、私共の経営理念は何ら変わることはなく、世界トップクラスの資産運用サービス、そして洞察力に富んだソート・リーダーシップを通じてお客様のご期待にお応えして参る所存です。今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

## 《略歴》

**ダニエル・J・アイバシ  
マネージング・ディレクター**

ニューポートビーチを拠点とする、グループ最高投資責任者(グループ CIO)、モーゲージ・クレジット・ポートフォリオ・マネジメントの統括責任者であり、PIMCO のクレジット・ヘッジファンドとモーゲージ担保証券(MBS)のオポチュニスティック戦略のリード・ポートフォリオ・マネージャーを務め、インカム戦略の統括もする。PIMCO のエグゼクティブ・コミッティーのメンバー、インベストメント・コミッティーのメンバーを務める。1998 年に PIMCO へ入社する以前は、ベア・スターンズの ABS グループに勤務し、さらにそれ以前は T.ロウ・プライスやフィデリティ・インベストメンツにも勤めた。投資業務経験 23 年。シカゴ大学ビジネススクールにて分析ファイナンスの MBA を取得。オクシデンタル・カレッジにて経済学学士号取得。

【ファンドの特色】

● 「野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる4つのコース(円コース、資源国通貨コース、アジア通貨コース、米ドルコース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))およびマネーパールファンド(年2回決算型)の9本のファンドから構成されています。

● 各コース(マネーパールファンドを除く4つのコースを総称して「各コース」といいます。)

◆ 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。

◆ 新興国のインフラ関連企業<sup>※1</sup>の債券を実質的な主要投資対象<sup>※2</sup>とします。

※1 当ファンドにおいて「インフラ関連企業」とは、産業や生活の基盤となる設備やサービスの提供を行なう企業や、インフラの発展に伴って恩恵を受けると考えられる企業をいいます。

※2 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

◆ 円建ての外国投資信託「PIMCOバミューダ・エマーシング・マーケット・アンド・インフラストラクチャー・ボンド・ファンド<sup>※</sup>」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

※ 「PIMCOバミューダ・エマーシング・マーケット・アンド・インフラストラクチャー・ボンド・ファンドA」および「PIMCOバミューダ・エマーシング・マーケット・アンド・インフラストラクチャー・ボンド・ファンドB」を総称して「PIMCOバミューダ・エマーシング・マーケット・アンド・インフラストラクチャー・ボンド・ファンド」といいます。

・「PIMCOバミューダ・エマーシング・マーケット・アンド・インフラストラクチャー・ボンド・ファンド」には、為替取引手法の異なる8つのクラス(J(JPY)/J(BRL)/J(AUD)/J(ZAR)/J(CNY)/J(INR)/J(IDR)/J(USD))があります。

円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	・外貨建資産を原則として対円で為替ヘッジを行なう外国投資信託および「野村マネー マザーファンド」に投資を行いません。
資源国通貨コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	・外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、資源国通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)を買う為替取引を行なう外国投資信託および「野村マネー マザーファンド」に投資を行いません。 ・外国投資信託への投資にあたっては、3つのクラス(J(BRL)、J(AUD)、J(ZAR))を投資対象とし、各々3分の1程度ずつ投資を行いません。
アジア通貨コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	・外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、アジア通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)を買う為替取引を行なう外国投資信託および「野村マネー マザーファンド」に投資を行いません。 ・外国投資信託への投資にあたっては、3つのクラス(J(CNY)、J(INR)、J(IDR))を投資対象とし、各々3分の1程度ずつ投資を行いません。
米ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	・外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行なわない外国投資信託および「野村マネー マザーファンド」に投資を行いません。

◆ 通常の状況においては、「PIMCOバミューダ・エマーシング・マーケット・アンド・インフラストラクチャー・ボンド・ファンド」への投資を中心とします<sup>※</sup>が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

※ 通常の状況においては、「PIMCOバミューダ・エマーシング・マーケット・アンド・インフラストラクチャー・ボンド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

◆ 運用にあたっては、ピムコジャパンリミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

◆ 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

● マネーパールファンド

◆ 安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。

◆ 円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象<sup>※</sup>とします。

※ 「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

◆ 「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。

◆ ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

● スイッチング

「野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

● 分配の方針

◆ 毎月分配型

原則、毎月18日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、毎年2月および8月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※コースによっては、投資信託約款上「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることに留意ください。

◆ 年2回決算型

原則、毎年2月および8月の18日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 【各コース】(米ドルコースを除く)  
平成33年2月18日まで(平成23年3月3日設定)  
【米ドルコース】  
平成33年2月18日まで(平成26年5月12日設定)  
【マネープールファンド】  
平成28年2月18日まで(平成23年3月3日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月18日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、2月および8月の18日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入価額  
●ご購入単位 1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
なお、「マネープールファンド」は、「年2回決算型」の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各コース】  
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額  
【マネープールファンド】  
ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 各コースは、販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
○円コース、資源国通貨コース、米ドルコース  
・申込日当日がニューヨーク証券取引所の休曜日と同日の場合  
○アジア通貨コース  
・申込日当日が以下のいずれかの休曜日と同日の場合  
ニューヨーク証券取引所 ジャカルタの銀行  
・申込日当日が、中国またはインドの連休等で、ご購入、ご換金のお申込みの受け付けを行わないものとして委託会社が指定する日の場合
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2014年9月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	【各コース】 ファンドの純資産総額に年1.8468%(税抜年1.71%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)以内(平成26年5月9日現在年0.0216%(税抜年0.02%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、ファンドに関する租税、監査費用等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に  
応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは

野村証券

商号：野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／  
一般社団法人金融先物取引業協会／  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時



★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合、この他に為替変動リスクがあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。